

平成24年産秋まき小麦初検査

社団法人 北海道米麦改良協会

24年産の秋まき小麦の生育は、は種時期の天候不順で、は種作業が極端に遅れ、さらに空知、上川では大雪と融雪の遅れにより湿害や冬枯れが発生し、廃耕も平年に比多くなりました。その後の高温・少雨で経過したため、出穂期は平年並みに回復しました。春からの生育期間が短くなったことと、は種遅れが重なり、草丈は短め、穂数は平年の80割程度と少なくなりました。登熟期間も一部の地域で干ばつの影響が強かったところを除き、好天に恵まれたことから十分に登熟しました。

このような生育のなか、本年度の初検査が7月30日JAたきかわ(空知管内)で行われました。検査の内容は、秋まき小麦「きたほなみ」280トンで、その全量が1等(Aランク)に格付けされました。



JAたきかわ検査場所(検査員 大谷光男)

刈取日 7月21日(土)

検査月日 7月30日(月)

検査場所 北の米蔵検査場所

銘柄 「きたほなみ」

等級 1等

検査数量 280t

成分内容

水分 : 11.4%

容積重 : 870g/l

F N : 368/sec

[参考値]

灰分 : 1.28%

たんぱく : 10.2%